

自己評価と改善方策

				妥当性(%)		
	評価の観点	今年度の自己評価	改善方策	A	B	C
学習指導	教員の授業力が向上したか	授業力向上のため、年2回の授業公開を行った 授業規律の確立に課題があった	教科会議で授業の実態を把握し、授業規律や学力向上を協働で具体化する	83		17
	学習意欲の低い生徒への対応が強化されたか	低学力の生徒へ考査前学習会の開催し、学習の機会を増やした	担任・学年で低学力生徒を把握し、個に応じた指導を強化する	100		
	家庭学習時間の確保と学習意欲の向上が高まったか	特進では家庭学習の時間が増えたが、総進では増えなかった	教科会議で家庭学習促進の取組を具体化する 資格試験を奨励する	83		17
生徒指導	基本的な生活習慣が確立したか	服装・頭髮や、挨拶など学年によるばらつきがみられた	学年と共同で基本的な生活習慣確立の取組を強化する	100		
	いじめ・問題行動への対応が充実したか	啓発資料を配布し、いじめ防止基本方針の啓発に努めた	いじめ防止について保護者の理解をさらに進める	100		
	特別な支援が必要な生徒に適切に対応したか	サポート委員会とスクールカウンセラーが共同で対応した	ほけんだよりでスクールカウンセラーの浸透を図る	83		17
進路指導	進路情報が提供されたか	進路だより 30 号、特進版 11 号、進路の窓 13 号発行された	保護者説明会の開催など進路指導を保護者の理解のもと進める工夫をする	100		
	生徒の進路意識が高まったか	日常的進路指導が不十分で進路意識は十分高まらなかった	日常的に全教員で進路指導できるよう研修を重ね取組む体制を確立する	83		17
	進学講習等が充実したか	FTBTime 等講習は充実した授業と講習の連携が不十分だった	授業との連動性を意識した講習を確立する 模試の精選が必要	83		17
特別活動	生徒会活動が充実したか	学校祭は充実した生徒の主体性を高める取組が必要	校則の見直しを生徒会と協議しながら進める	100		
	部活動が活性化したか	強化指定部以外の部活動も充実し活性化した	強化指定部集会を開催し部員としての自覚を高める	67		33
入試広報	本校の魅力が広報されたか	小樽・後志・札幌市西部地区を重点に中学校訪問を強化した	より深くアピールするため中学校訪問を充実する	100		
	SNS 等を活用した広報活動が強化されたか	インスタグラムの運営などばらつきがみられた	SNS 等の定期更新のための体制を強化する	83		17
通信教育	通信制の学びを深めたか	全日制と協働の取組を実践した	引き続き充実させる	83		17
	レポートの提出率を上げられたか	未提出者の把握に手間取った	新教務システムで把握する	67		33
学校経営	教員の資質が向上したか	スクールコンプライアンスのプリントを発行した	担任力の強化を図る	100		
	組織活動が強化されたか	月例の分掌会議で協働体制を強化した	報告・連絡・相談しやすい職場風土を確立する	83		17
	開かれた学校づくりが進んだか	クルーズ船歓迎や小樽幼稚園との協働が進められた	学校祭の一般公開を充実させる等いっそう地域との連携を重視する	100		
	保護者連携を進める	学習指導や進路指導等十分な連携ができていなかった	進路指導等で保護者説明会を開くなど連携を深める	83		17

回答者 6名